

市議会議員
かけのまち子

電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子

電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.578 2025.8.7
日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

＊困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP 検索

新学校給食センターが完成、9月から調理開始 整備費49.5億円、調理・運営委託(15年間)64億円

江南市の新学校給食センター（愛称：藤の花給食センター）が、すいといぴあ江南西側（小杵町）に完成。竣工式と内覧会が7月18日に行われました。

老朽化した北部・南部の給食センターを統合し、民間の資本と提案を生かすPFI（BTO）方式で整備されました。事業者は、関係10社が設立した（株）江南スクールランチ（代表企業はメフォス（東京都））

鉄骨造、延べ床面積4,274㎡。施設整備費は物価高騰を受け契約時より4億2900万円増の49億5520万円に。15年間の調理・運営委託費は64億円。一日最大8100食の能力があり、1日2献立を調理し小・中学校15校に配送。新たに、卵と乳のアレルギー除去食120人分を調理する専用室が設けられました。

市の責任で行う業務は、献立作成と食材の調達・検収（事業者が補助）、調理等の指導・助言、見学者案内、給食費の徴収、食育だけとなり、業務の大半を民間事業者の責任で行うこととなります。



小・中学校体育館の空調工事がはじまります

7月30日の市議会7月臨時会で、小・中学校15校の体育館に、エアコン（ガス式）を設置する工事の請負契約を可決しました。いっせいに工事が始まります。完成は2026年3月の予定です。

設置工事は15校分を2、3校分ずつ7つの契約に分割して発注。それぞれ一般競争入札を行った結果、市内業者6社と市外業者1社が落札しました。

契約総額は、12億1737万円。停電時でもエアコンを動かせるよう、室外機にバッテリーを内蔵したものととなります。

夏休みの古南学童保育、8月から 試行的に弁当提供がはじまる

夏休み中の学童保育への弁当提供が8月1日から古南学童で始まり、様子を見に行きました。11時頃弁当が届き、1食400円。ごはん170gおかず3種類とゼリーが別々の容器で届きました。箸は持参。

登録者は1か月分のメニュー表から注文日を選び申し込みます。キャンセルは前日まで可能。支払いは保護者が直接業者に行います。今回の試行では学童保育利用者の4割程度が登録。1日平均学童利用者の5割程度が注文していました。

「おいしい」という感想が多かったですが、今後の数の変動をみて、来年以降、業者弁当を続けるかどうか検討されます。

「地方自治が切りひらく平和で豊かな社会」…自治体学校in東京に参加

東京都内で7月26、27日に開催された第67回自治体学校に議員団で参加、研修しました。

一日目の全体会では、基調講演「地方自治と地域、この1年から考える。核廃絶と平和・共存に向けた自治体の役割」（中山徹奈良女子大名誉教授）と、記念講演「被爆80年、核兵器のない世界の実現をめざして」（日本被団協代表委員の田中熙巳さん）に耳を傾けました。

戦後80年が経ち、あらゆる方面から新たな戦前が始まっています。核兵器廃絶と平和への想いを新たにしました。

持続可能な農と食のあり方を考える

二日目の分科会。掛布議員は「持続可能な農と食のあり方を考える」分科会に参加し、生態系と調和した農と食のあり方として注目の「アグロエコロジー」に関する科学・実践・社会運

動の広がりを学び、学校給食への地産地消農産物、有機農産物の活用とその意義について研修しました。

公共交通の改善・充実で住み続けられる地域に

三輪議員は、公共交通の分科会に参加しました。

移動政策は、公共交通の不足解消、交通弱者や観光客の利便性といった個別目標にとらわれず、もっと大きな視点に立って構想することが重要で、気候変動の抑制、健康寿命の増進、医療費の削減などの大きな視点から、自治体予算配分の優先順位を変えていくことが必要であることを学びました。

バス、タクシーなどの運転手不足は全国どこでも深刻。自家用車を使ったライドシェアや自動運転が今後の方向性として考えられますが、安全性や実用性の課題があることを学びました。